

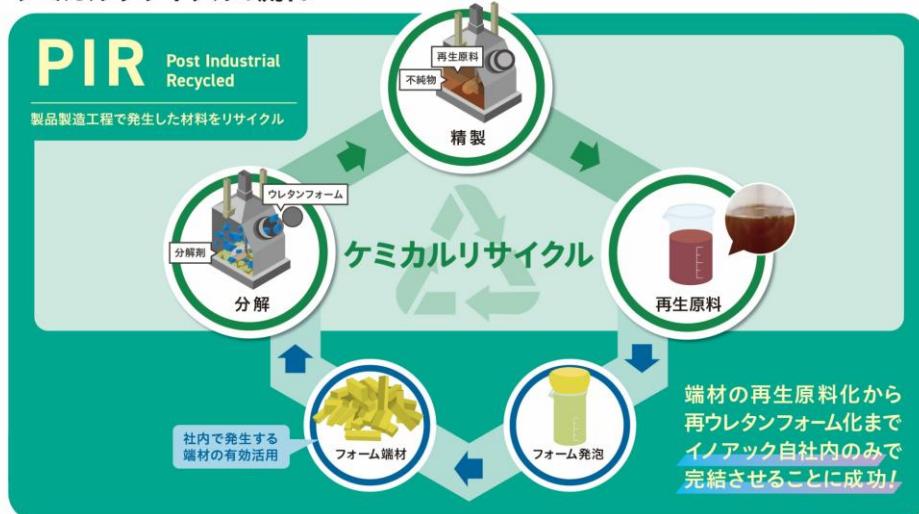
2026年2月10日
株式会社イノックコーポレーション

ウレタンフォームの再生原料化から発泡まで イノックがケミカルリサイクルの一貫体制を確立

再生原料でありながら初期原料と同等レベルの物性をもつ再生ウレタンフォームの開発に成功

日本で初めてウレタンフォームの生産を始めた化学素材のリーディングカンパニーである株式会社イノックコーポレーション（代表取締役社長：野村泰、名古屋本社：愛知県名古屋市・東京本社：東京都品川区、以下イノック）は、革新的な技術開発により、製造工程で発生した自社のウレタンフォームの端材を、再生原料化し、再生ウレタンフォームとして発泡するまでの一連の工程を開発しましたことをお知らせします。このケミカルリサイクルは当社が独自で開発した実証機を用いることで、再原料化から製品化に至るすべての工程を自社内で完結させることができます。

ケミカルリサイクルの流れ



ウレタンフォームは再原料化が難しい熱硬化性樹脂であることに加え、国内では高度な専門性を背景に、原料メーカーと発泡メーカーの事業領域が明確に分かれています。これら2つの要因が、日本において包括的なケミカルリ

サイクルを構築するうえで大きな壁となっていました。

当社が新たに開発したケミカルリサイクルは、独自の実証機を導入し、自社の製造工程で発生した端材を化学的に分解・再生することで、この壁を突破しました。これにより、原料化から発泡にいたる一連の工程を自社のみで完結させる新たな循環モデルの構築に目途を立てました。

なお、この再生されたウレタンフォームは、当社従来の素材と同等レベルの物性であることが検証されています。



■ 開発背景

当社はこれまで、製造工程で発生する端材を粉碎し、成形したマテリアルリサイクル製品「ミクセル®」の製造に取り組んできました。しかし、端材の中には素材の特性上、マテリアルリサイクルに適さないものがあり、一部を廃棄せざるを得ないことが長年の課題でした。こうした背景から、「製造工程で発生するすべての端材をリサイクルできないか」という強い課題意識のもと、ケミカルリサイクルの研究を進めてきました。自社製品を対象とした独自の原料配合や設備の検討を重ねた結果、実証実験において再原料化に成功しました。

こうして開発された再生原料を用いたウレタンフォームに、「rePURous™（リピュラス）」と命名しました。この名称は、ウレタンフォームを象徴する「PUR」を、再生を意味する「re」と融合させたもので、“再生・循環・つながり”という想いを込めています。当社は「rePURous™」を環境対応への取り組みを体現するブランドとして位置づけ、再生素材の認知向上と付加価値の創出を図ることで、環境負荷低減に真摯に取り組む企業の姿勢を広く発信してまいります。



■今後の展開

現在は、社内で発生した端材を対象に量産体制の確立を進めておりますが、将来的には、市場で役目を終えた使用済みウレタンフォームもリサイクルできるよう、さらなる開発に取り組んでいきたいと考えております。例えばマットレスの回収や解体の方法も含めた検討を進め、資源循環のさらなる拡大を目指しています。

またウレタンフォームは有限な化石燃料から製造される素材のため、積極的に再生原料を活用することで、化石燃料の使用量削減や温室効果ガス（GHG）排出量の低下につなげ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。当社は資源を活用する製造メーカーとしての役割を自覚し、今後は自治体や他のウレタンフォームメーカーとも連携し、回収から再資源化までを見据えた循環モデルの構築を通じて、グリーントランسفォーメーション（GX）の実現に努めています。



■会社情報

イノアックコーポレーションは、日本で初めてウレタンフォームの生産を始めたウレタン発泡技術のリーディングカンパニーです。ウレタンフォームだけでなく、長年培われた高分子化学技術から生まれるゴム、プラスチック、複合材で世界中の製造産業をリードし、用途や目的、特性の異なる高機能材料を開発し、ソリューションサービスを通じて、人々の豊かな暮らしを支えています。自動車、二輪、情報・IT 機器、住宅・建設関連から身近な生活関連商品、コスメ用品まで、生活のさまざまな場面に密着した製品を取り扱っています。

公式 HP : <https://www.inoac.co.jp/>

公式 SNS : https://www.instagram.com/inoac_official/

<本プレスリリースに関するお問い合わせ>

プレスリリースに掲載されている内容やその他の情報は、発表時点での情報です。予告なく変更する場合があります。予めご容赦ください。

<本プレスリリース・ご取材等に関するお問い合わせ先>

株式会社イノアックコーポレーション 広報部 アウターコミュニケーション課

TEL : 090-9977-0169

e-Mail : pr@inoac.co.jp